

読者おたより

☆一人一人が問題意識をもてるように

東京都港区 佐藤洋子
今すぐ何かが変わらなくても……。地道にひっそりと……。一人一人が問題意識を持つような教育を！

☆この国民にしてこの政府あり

長野県下伊那郡 田中栄二
さきの参院選の結果には、この国民にしてこの政府ありと諦念の想いがします。でも、その中で貴会の存在に希望を感じます。遅くなりましたが、お仲間にして頂きたく会費を送ります。会員の区分が分かりませんが、60代後半ですので、とりあえずシルバー会員で。

☆小さい力でもできることを続けたい

東京都文京区 江尻美穂子
いつも「市民の意見」誌をお送り下さりありがとうございます。 「平和」な世界を目指して小さな力ですが、できることをたゆまず続けたいと存じます。

☆今の状況を学びたい

東京都目黒区 東海林次男
参議院選で、改憲勢力が2/3に。日本国憲法が生まれた背景と、今の状況を学ぶために入会します。

☆市民・野党共同に希望をもちます

熊本県熊本市 藤本和子
市民・野党共同で「あべ広美」さんを参議院に押し上げようと頑張っています。今回は届きませんでした。次回に希望をもっています。

☆若者を信じて

東京都多摩市 中島マリ子
私が平和を維持するためのビラ配りをしたとき、若者がビラを受け取ってくれてうれしかった。戦火を経験した私が去っても残った人々が平和な国を守ってくれる事を信じる事ができた。86歳。

☆わが孫の未来のために

神奈川県横須賀市 照井敏子
わが孫の未来を思うとおそろしい時代になりました。命ある限りがんばって行きたいと思います。

☆人同士の温かい心持ちを

神奈川県茅ヶ崎市 鈴木美智代
狭い道路で行き交った人が軽く会釈してください。こちらにも返す。何とも言えない

温かい心持ち。国はちがってもどこの国も人が作ってるのですから、こういかないものでしょうか。必ず出来ます。

☆ご都合主義の安倍晋三

静岡県掛川市 中山誠一
今回の参議院選挙の残念な結果を前にしてこれ程、安倍政権の危険性が叫ばれても伝わらなかつたかとむなしくさえ思います。安倍晋三のあまりに醜いご都合主義を考えると彼以外なら誰でも良いとさえ思います。

☆すべての軍事基地のない国を

神奈川県横浜市 高島武雄
辺野古新基地NO！
高江オスプレイパッドNO！
海兵隊NO！
すべての軍事基地のない国を夢見ています。

☆みんな戦争のこと、忘れたのか？

東京都武蔵野市 阿部美智子
85歳の老婆です。みんな戦争のこと、忘れたのか？ なんでやすやすと2/3が成立してしまうのか？ フシギです。

☆野党共闘を

大阪府高槻市 野口里子
安倍暴走政治NO！
安倍政権支持者が不支持を上回る現実が理解できない。戦争法廃止、立憲主義の回

復を野党共闘で勝ち取ろう。

☆戦争を阻止するより良い方法

大阪府高槻市 山下進一

前大戦の経験のない人は、戦争をしたがっている人が多いようですが、このやり方でそれを阻止するのに効果がありますか。よりベターな方法がほしい。

☆どうしてこんな時代になったのか

神奈川県藤沢市 八木 栄

長く続けて来られ、このような時代になっちゃったこと。みなこの思いを共有したいです。

☆学徒動員の世代です

京都府京都市 井上とし

ご苦労さまです。当分は手をゆるめられませんか。平和を願って止みません。学徒

動員の世代として、がんばってくださいませ。

☆小さな一歩、電力購入自由化

京都府向日市 佃 れい子

原発の自然界との共生がかなわないという事が立証されている以上、何とかして自分なりに抵抗を試みるのですが、いかんせんインフラの中心にある以上どうしようもなく悶々としていましたが「電力購入自由化」がやっと始まり、これも小さな一歩かなと期待しています。少しでも次の世代に幸せを届けたいです。

☆白鳥範子さんの指摘に胸をつかれた

愛知県岡崎市 大久保敏明

安倍パールハーバー演説にポツカリ抜けていたもの、それはハワイの歴史・先住民への思いという指摘(白鳥範子氏)に胸をつ



2017. 2. 9. 12:30AM*

かれた。オバマからトランプへ、臆面もなく尻尾をふって「おべんチャラ外交」全開。ノーテンキな二人のゴルフシーンは今から赤面の至り。

前号160号の訂正とおわび

●中道雅史「北海道と青森、そして全国が結びついた」

10 P 2段9行(誤)「原子力船むつ使用済核燃料中間貯蔵施設」↓(正)「むつ使用済核燃料中間貯蔵施設」

10 P 3段3段写真キャプション

(誤)「東通役場前を走行中の筆者」↓(正)「東通役場前を走行中の自転車隊」

●天野恵「あらためて問いたい(憲法解釈は朕のもの)」でいいのか」20 P 2段14行(誤)「積極的に対応していた安倍政権側が」↓(正)「消極的に対応していた安倍政権側が」

22 P 1段11行(誤)「女性(子)天皇」制↓(正)「女子(子)天皇」制

右記の中道氏寄稿文は校正時に付け加え変更し、また天野氏の寄稿文は筆者校正が反映しておりますでした。

訂正しお詫び申し上げます。
